

中小企業 いばらき

2020
November
No.745

11

【クローズアップ】

第72回中小企業団体全国大会

「つながる ひろげる 連携の架け橋 ～スクラム^{つよ}強く 団結前進～」



発行所・編集発行人:

 茨城県中小企業団体中央会

<https://www.ibarakiken.or.jp/>

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 TEL.029-224-8030

CONTENTS

- クローズアップ …… 1
- ニュースフラッシュ …… 8
- インフォメーション …… 10
- 業況レポート …… 14
- 経済・労働リサーチ …… 17
- 中央会だより …… 18

JOYO CARD Plus

法人クレジットカード



法人
クレジットカードの
イトココ

領収書の整理や
振込手続きなどの
経理処理が軽減

支払いが
一本化され
管理が容易に!!

ETCカードは
何枚発行しても
手数料無料!!

お問い合わせ

常陽 クイック
ビジネスセンター



0120-310-863

【受付時間】平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)



常陽銀行

表紙の紹介

『第72回中小企業団体全国大会』

主催 全国中小企業団体中央会、茨城県中小企業団体中央会

本県で初となる全国大会を開催

10月22日、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館において「第72回中小企業団体全国大会」が開催され、来賓や全国の中小企業組合の代表者ら約380名が参加した。本県での全国大会の開催は初めて。

全国大会は、毎年1回、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会を実現することを目的として開催され、中小企業者や中小企業組合の総意を取りまとめ、その実現に向けて一丸となり取り組むことを決議する場となっている。

茨城県の魅力発信のため、いばらき観光物産企画展を開催 みとちゃんと水戸の梅大使がお出迎え

例年、全国大会の併催事業として観光物産展などが開催されているが、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染リスクの軽減を図るため、観光物産展を中止した。

当日は、全国各地から来場した参加者に本県の魅力を広く発信し、また県内の特産品等に係る組合の振興を図るため、パネル掲示とパンフレット等を設置し、いばらき観光物産企画展を開催した。会場入口では、水戸市マスコットキャラクターのみとちゃん

んと水戸の梅大使らが参加者を迎えた。

初の試み、全国大会をLIVE配信

新型コロナウイルスの影響により、大会規模を大幅に縮小したため、大会に参加することができなかった全国の中小企業団体の関係者等に、全国大会の様態をインターネット上にてLIVE配信した。これは全国大会初の試みであり、感染拡大防止と社会経済活動の両立が求められる新たな生活様式に対応したもので、全国の中小企業団体の関係者らが一堂に会する全国大会を目指したものである。

今大会を機に、来場した参加者、LIVE配信を視聴した中小企業団体関係者が、「第72回中小企業団体全国大会」の決議事項を共有し、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、今後の中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現のため、一丸となって取り組んでいく。

大会の概要等は「クローズアップ（1ページから6ページ）」をご覧ください。

表紙写真 上 段：第72回中小企業団体全国大会
下 段 左：水戸市マスコットキャラクター
みとちゃんと水戸の梅大使
下段中央：口笛演奏家 加藤万里奈さん
下 段 右：いばらき観光物産企画展

第72回中小企業団体全国大会

10月22日、本会と全国中小企業団体中央会は水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館において「第72回中小企業団体全国大会」を開催し、来賓や全国の中小企業組合の代表者等、約380名が参加（本県からは110名が参加）しました。

大会は、「つながる ひろげる 連携の架け橋 ～スクラム強く 団結前進～」をスローガンに掲げ、中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充、労働・雇用・社会保険料対策の推進、事業活動を支える環境整備等21項目の要望事項を採択しました。

本号では、大会の概要やその内容、採択された要望事項などを紹介します。なお、今回の大会の様子は、本会の第72回中小企業団体全国大会特設サイト (<https://i-zenkoku2020.com/>) で配信していますので、ご覧ください。

I 第72回中小企業団体全国大会の概要



1. 開催の目的

わが国経済は、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期されるなど、多くの課題を抱えている。

こうした中、地域経済を担い雇用と暮らしを支える中小企業は、中小企業等連携組織による共同化、協業化や企業間連携の強化を図り、事業維持・存続していかねばならない。

ここに、中小企業者で組織する全国約3万組合等の発展に向けた不断の努力を決意し、その総意を内外に広く表明するとともに、政府等に中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的として、次のスローガン掲げ、第72回中小企業団体全国大会を開催する。

〈第72回中小企業団体全国大会のスローガン〉

つながる ひろげる 連携の架け橋
～スクラム^{つよ}強く 団結前進～

2. 主催

- 全国中小企業団体中央会
- 茨城県中小企業団体中央会

3. 日時及び場所

- 開催日時
令和2年10月22日（木） 13:30～15:00
- 開催場所
「ザ・ヒロサワ・シティ会館」
水戸市千波町東久保697番地

4. 後援及び協賛

- 後援
経済産業省、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、関東経済産業局、茨城県、水戸市、関東甲信越静岡ブロック中小企業団体中央会
- 協賛
(株)商工組合中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業振興機関協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)エヌ・エス・エイサービス

5. 大会プログラム

1. アトラクション
2. 開会
3. 国歌斉唱、団体歌斉唱
4. 開会挨拶
5. 開催地会長挨拶
6. 歓迎挨拶
7. 来賓紹介
8. 来賓祝辞
9. 議長・副議長選任
10. 議事
 - (1)決議経過報告
 - (2)議案上程
 - (3)意見発表
 - (4)議案採決
11. 大会宣言
12. 表彰式
 - (1)優良組合表彰
 - (2)組合功労者表彰
 - (3)中央会優秀専従者表彰
13. 次期開催地発表
14. 大会旗継承
15. 次期開催地会長挨拶
16. 閉会

II 第72回中小企業団体全国大会の内容

1. アトラクション

開会に先立ち、水戸市出身の口笛演奏家の加藤万里奈さんによる口笛演奏が行われた。加藤さんは中学校在学中の2013年4月にアメリカ合衆国のノースカロライナ州で開催された国際口笛大会のティーン部門女子部で優勝、2014年に水戸市より芸術文化功労賞を受賞、2019年には米ニューヨーク市のカーネギーホールにて日本人で初めての口笛演奏を行っている。



口笛演奏（口笛演奏家 加藤万里奈さん）

2. 開会挨拶

全国中央会の森洋会長が「今年度の全国大会は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、Webによる同時配信や動画メッセージなど新しい試みを数多く実施した。今年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期されるなど、経済活動に限らず、社会・文化・スポーツ・教育活動等、個人・法人を問わず社会生活の根幹に多大な影響を与えている。「つながる ひろげる 連携の架け橋～スクラム強く 団結前進～」のローガンのもと、企業間連携を一層強化し、中小企業・小規模事業者全体の生産性向上に向けた取り組みを積極的に支援していく所存である。本日の全国大会において本決議案の採決を認めた後、1つでも多くの要望項目を実現させるべく、菅新政権に対してこれまで以上の働きかけを行って参りたい。全国大会に参加された皆さまには、今大会を契機に全国約3万の会員組合との連携の架け橋がさらに強い絆となり、大会決議の実現に向けた原動力となるよう切にお願いしたい」と述べた。



開会挨拶を行う全国中央会の森会長

3. 開催地挨拶

茨城県中央会の阿部真也会長が「デジタル化の進展、生産性向上への取り組み、労務コストの上昇、気候変動による相次ぐ大規模自然災害の発生など、そしてコロナ禍の厳しい経営環境下にある中小企業は、未曾有の困難に直面している。しかしながら、中小企業経営者である我々個々の力を、組合など中小企業連携組織の要である相互扶助の精神をもって、この難局を打開したい。本大会のローガンである「つながる ひろげる 連携の架け橋～スクラム強く 団結前進～」のとおり、全国3万の中小企業組合、その傘下にある中小企業 235万社がスクラムを組み、新たな取り組みにチャレンジすべく、前進し続けることで、中小企業が幾多の課題を克服する契機となる大会にしたい」と述べた。



開催地挨拶を行う茨城県中央会の阿部会長

4. 歓迎挨拶

大井川和彦茨城県知事が「新型コロナウイルスの影響により、中小企業の経営状況は極めて厳しい状況にあるが、このような中、開催される本大会が、全国の中小企業の皆さまが一丸となり、困難な状況においても力強く時代を切り開く契機となることを大いに期待している」と挨拶した。

続いて、高橋靖水戸市長が「今回の全国大会のローガンである「つながる ひろげる 連携の架け橋～スクラム強く 団結前進～」のもと、全国の中小企業団体の代表者の皆さまが一堂に会し、意見を交わし、課題を共有することにより、地域や業種を超えた企業間の連携を深めることは、中小企業の抱える課題の解決はもとより、コロナ禍からの事業回復にもつながっていくものと確信している」と挨拶した。



大井川茨城県知事



高橋水戸市長

5. 来賓祝辞

梶山弘志経済産業大臣が「現在、コロナという人類共通の脅威に直面をしている。全国の中小企業の皆さまも従来のビジネスモデルを変更せざるを得なくなるなど、非常に厳しい状況に置かれていることと推察する。この難局を乗り越えるために、本日は全国から参加いただいている皆さまと現状や課題を共有し、官民一丸となってウィズコロナという新たな時代に向けた活動を加速する機会にしたい。皆さまを支えていくことが経済産業省の大きな役割である」と祝辞を述べた。また、今年はコロナ禍であることから、新たなスタイルとして、田村憲久



梶山経済産業大臣



田村厚生労働大臣（ビデオメッセージ）



野上農林水産大臣（ビデオメッセージ）

厚生労働大臣、野上浩太郎農林水産大臣、関根正裕商工組合中央金庫代表取締役社長の各氏がビデオメッセージで祝辞を述べた。



関根商工中金代表取締役社長（ビデオメッセージ）

6. 議事、決議経過報告、議案上程、意見発表、議案採決、大会宣言

議事は、茨城県中央会の阿部会長を議長に、新潟県中央会の堀一会長と神奈川県中央会の坂倉副会長が副議長となり進行。全国中央会の佐藤哲哉専務理事が決議経過報告（前回大会で決議された要望事項の国等への要請活動報告など）を行うとともに本大会での議案（要望事項）を上程した。

続いて、福井県中央会の稲山幹夫会長の意見発表の後、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など21項目の要望事項の議案が採択された。（4ページ参照）

その後、茨城県中小企業青年中央会の山本主税会長が声高らかに大会宣言を宣した。（5ページ参照）



議長及び副議長

（左から）神奈川県中央会の坂倉副会長、茨城県中央会の阿部会長、新潟県中央会の堀会長



決議経過報告を行う全国中央会の佐藤専務理事



意見発表を行う福井県中央会の稲山会長



大会宣言を宣する茨城県中小企業青年中央会の山本会長

7. 表彰式

中小企業組合の振興発展に貢献した優良組合32組合、組合功労者74名、中央会優秀専従者20名の表彰が行われた。本県からは、優良組合としてひたちなか市建設業協同組合（千葉和男理事長）、水戸地方総合食品協同組合（庄司任勝理事長）、組合功労者として竹脇元治氏（南町三丁目商店街振興組合理事長）、大島富男氏（真壁地区自動車整備協同組合理事長）が受賞した。

今回の表彰式では、新型コロナウイルスの影響により、各表彰の総代のみの出席・登壇となったため、竹脇理事長が組合功労者の総代として登壇し、全国中央会の森会長から表彰を受けた。



表彰を受けた竹脇理事長（中央）

8. 次期開催地（神奈川県）の発表、大会旗承継

次期全国大会開催は、令和3年11月25日（土）に神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されることが発表され、大会旗が茨城県中央会の阿部会長から全国中央会の森会長へ返還され、神奈川県中央会の坂倉副会長へ継承された。

神奈川県中央会の坂倉副会長は「神奈川県での全国大会開催は平成6年以来、2回目となる。来年の全国大会はコロナ禍を乗り越え、中小企業・小規模事業者の更なる成長・発展となるような大会にしたい。また神奈川県には魅力的な観光地が多数あるので、ぜひ大会に参加していただき、神奈川県を堪能していただきたい」と挨拶した。

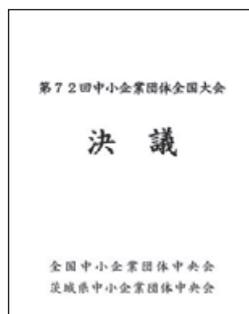


茨城県中央会の阿部会長から全国中央会の森会長へ大会旗返還

第72回中小企業団体全国大会で決議された要望事項

誌面の都合で項目のみの紹介となりますが、決議の全文は、全国中小企業団体中央会のホームページ（<http://www.chuokai.or.jp/>）をご覧ください。

第72回中小企業団体全国大会決議



令和元年に多発した自然災害による被害、10月からの消費税率引上げ、米中摩擦等による通商問題を巡る動向などにより、国内外のマイナス要因が強まる中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や令和2年7月の自然災害の更なる発

生により、中小企業・小規模事業者の経営は、かつて経験したことのない未曾有の難局に直面している。

中小企業・小規模事業者は、これまで幾多の困難な状況に追い込まれたが、その都度、力を結集し、中小企業組合等の連携力によって、これを打破してきた。こうしたこれまでの困難な局面において、中小企業組合等が果たしてきた役割を改めて想起し、今まさに直面している新型コロナウイルス感染症の課題は、中小企業組合等の連携力で解決していくことが必要である。

即ち、中小企業・小規模事業者がこの難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、個々の自助努力だけでは限界があり、中小企業・小規模事業者が協同して経営資源を補完・補強し合うことが効果的であることから、これを支援するため、国等からの迅速かつ手厚い支援策が不可欠である。

併せて、全国約3万存在する組合等の連携組織を有効に活用し、ウィズコロナの時代を共に切り拓き、共に発

展することを目指す上で、中小企業団体中央会は、組合等連携組織への支援活動をこれまで以上に強力に展開していく必要がある。

国等は、中小企業・小規模事業者の難局からの脱却と、その先の持続的な成長、豊かな地域経済社会の実現に向けて、全国の会員組合等からの意見を踏まえた本決議事項の実現に強く取り組まれない。

決議項目

I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強化支援等の拡充

1. 新型コロナウイルス感染症及び多発する災害からの復興支援と中小企業強化・事業継続力強化への強力な推進
2. 生産性向上の実現支援の加速化と新たな展開対応への支援強化
3. 次世代への円滑な事業承継・後継者育成に向けた対策の強化
4. 中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の拡充・強化、実態やニーズに即した組合制度への運用改善
5. 地方創生推進に向けた対策の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に対する配慮
2. 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
3. 中小企業の人材確保・定着対策
4. 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
5. 外国人技能実習制度の円滑化と拡充
6. 外国人材の受入れ体制の整備
7. 障害者雇用への中小企業支援策の拡充
8. 国による職業訓練機能の拡充・強化
9. 社会保険制度等の整備

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

大会宣言

宣言

本日、中小企業団体の代表は、「スクラム強く、団結前進」をテーマに、ここ茨城県水戸市に集い、約三万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。人手不足、後継者難、最低賃金の引上げ、社会保険料負担の拡大、働き方改革への対応、消費税率引上げと複数税率対応、頻発する自然災害など、課題が山積している中、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界経済は大恐慌以来の大きな打撃を受け、我々中小企業・小規模事業者の経営は、これまで経験したことのない難局に直面している。

このような状況で、足もとの緊急時の対応に加えて、「新たな日常」への移行と適応のためになすべきことは、生産性の向上と組合等の連携機能の一層の活用である。そのためには、個々の企業の実態の向上に加えて、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、事業統合などの企業間の連携強化により、全体として生産性を高めていくことが重要である。

我々は、次のスローガンのもと、国等に対して、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、コロナウイルス・災害対策と経済活動拡大の推進
- 一、デジタル化投資関連支援策の拡充・強化
- 一、事業承継・後継者育成対策の強化
- 一、実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、地域・まちづくりの推進と観光・商業・サービス業対策の拡充
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した我々一同は、新たな時代を切り拓くべく、積極果敢に行動することを決意する。

右宣言する。

令和二年十月二十二日
第七十二回中小企業団体全国大会

第72回中小企業団体全国大会 受賞者のご紹介（茨城県関係者）

表彰式では、優良組合32組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者20名の表彰を行い、本県からは、優良組合として、ひたちなか市建設業協同組合及び水戸地方総合食品協同組合、組合功労者として、南町三丁目商店街振興組合・竹脇理事長及び真壁地区自動車整備協同組合・大島理事長が表彰されました。

優良組合

ひたちなか市建設業協同組合

理事長 千葉 和男
 設立年月日 昭和38年2月23日
 組合員数 64人
 専従者数 3人
 主な共同事業 共同受託事業
 共同購買



当組合は、市の委託を受け道路補修工事など共同受託事業を実施、組合員の経営基盤の強化に努めている。また、市との防災協定締結に基づき、緊急時には迅速な対応に心掛け、地域住民の安全な暮らしを守る活動を通じて、防災に強いまちづくりに貢献している。さらに、各種イベント等に参加し地域に根差す建設業をPRすることで、業界の地位向上と地域住民との信頼関係を構築している。

優良組合

水戸地方総合食品協同組合

理事長 庄司 任勝
 設立年月日 昭和39年8月3日
 組合員数 109人
 専従者数 2人
 主な共同事業 共同購買



昭和39年の設立以来、青果の共同購買を実施し、円滑な代金決済を行い、組合員の経営合理化を図っている。青果市況の情報収集・提供を積極的に行い、組合員の経営力向上を推進、経営基盤の強化と安心・安全な商品を提供できる体制づくりにつなげている。また、市場が主催するイベントに参加するなど組合及び市場全体の発展と県民の食生活の向上に大きく貢献している。

組合功労者

竹脇 元治

南町三丁目商店街振興組合
 理事長
 役員勤続年数 38年
 主な共同事業 共同購買
 駐車場・会館施設等
 の利便を図る事業



昭和50年より長きに亘り、理事、理事長などを歴任、活発な組合事業運営を推進。情報発信事業、商店街の環境整備のほか、若手事業者の育成、先進的なイベント活動を通じ賑わい創出に成果を挙げる。また、県商店街振興組合連合会の理事長、中央会副会長、全国商店街振興組合連合会理事を歴任し、商店街の活性化と地域経済の振興発展に貢献している。

組合功労者

大島 富男

真壁地区自動車整備協同組合
 理事長
 役員勤続年数 42年
 主な共同事業 自動車の共同整備
 及び共同検査
 共同購買



昭和53年より長きに亘り役員を歴任。日々進化する自動車技術に対応すべく、講習会等を開催し技術向上を図るほか、整備台数の確保や新規組合員の獲得などさまざまな課題に熱心に取り組み、組合の安定経営に尽力。また、県内の自動車整備組合で組織する茨城県自動車整備協業組合連絡協議会会長を務めるなど、業界の振興・発展に多大な貢献をしている。

次回の「第73回中小企業団体全国大会」は、神奈川県横浜市で開催されます。

開催日 令和3年（2021年）11月25日（休）
 開催場所 パシフィコ横浜国立大ホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
 主催 全国中小企業団体中央会 神奈川県中小企業団体中央会